

# ΚΟΣΜΟΣ

**特集** 一冊の本を斬る!

—井上円了読后感想文のひみつを探る—

No.115 1996 秋

巻頭・エッセイ	1
特集	2
研究室の窓	4
図書館引き出し帳	5
貴重書を訪ねて	7
図書館紀行	8
ただいま貸出中!	9
カウンター発9時	9
図書館アラカルト	10

巻頭エッセイ

## My First Robinson

Hiroshi Ebine

I first met Robinson Crusoe in my wartime childhood. My family had rented a relative's house in the country to escape from the American air-raids. In the back of the closet I found him among a pile of old books left by the owner. It was a beautiful book, with a good binding and many pictures. Just having it in my possession was a delight, but when I began to read, I was immediately drawn in. The life of Robinson alone on his island became more real to me than the wretched food, ragged clothing and cold bed of my new country life. Perhaps I felt that we had something in common, because we were both suddenly thrown into an unfamiliar and desolate environment. I identified with him so totally that I tried to follow him by baking my own pottery, using up all our precious firewood in the process and making my mother furious when she found out. Since then I have reread the book many times and learned to see its hero in new ways — Robinson the economic man, Robinson the colonialist and so on. But all these insights would be meaningless if it had not been for that first, innocent and unthinking enthusiasm.



### 〈要約〉 — はじめてのロビンソン —

私のはじめて『ロビンソン・クルーソー』を読んだのは、戦争中田舎の親戚の家に疎開した時、押入れの奥の古本を見つけた時だった。無人島で完全な自給自足の生活をするロビンソンは、なじみのない環境に放りこまれた私と同じ身の上のように思われて、私はすぐさま夢中になった。あげくのはては彼のまねをして土器を焼くつもりで、母が大事に貯えていた薪をぜんぶ燃やしてしまい、こっぴどく怒られたこともある。その後この小説の新しい解釈もいろいろ学んだが、この最初の無我夢中な没頭がやはりすべてのはじまりだと思う。

(えびね・ひろし 文学部英米文学科教授)

読書案内!

- 『ロビンソン・クルーソー物語』(白山・朝霞所蔵)
- 『ロビンソン・クルーソー本当の話』(白山・朝霞所蔵)
- 『Robinson Crusoe』(工学部所蔵)



## 特集

# 一冊の本を斬る!!

▶▶▶ 井上円了読后感想文のひみつを探る ▶▶▶



大多数の中から

## 入賞する ために 頭 を 使 おう!!

### 選考者、入賞者のワザを伝授

#### どうなってるの？入賞作品の選び方

山崎 甲一

今年度の「井上円了の教育理念」読后感想文コンクール選考委員の一人であった関係から、標題のテーマで今後応募される人達に何かアドバイスをと依頼された。もともと読書感想文の書き方というようなことにほとんど心を砕いたことのない私には、とり立てて気の利いたアドバイスなどが出来る柄ではない。応募された沢山の感想文を見ながら、むしろ、そのそれぞれの個性的な文章力に感心させられた。800字という字数ではとてもその一端すら具体的には紹介できないので、とりあえず今年度の選考経過や審査の基準などを簡略に記して、今後の応募の参考に供したいと思う。

大学の部は応募総数が846点あり、昨年度より95点の増加であった。学部の一・二部、短大、大学院、通信教育部それぞれの学生から集まったものを、10人の選考委員の先生方が分担をして、各自5点ずつまず優秀なものを選び出す。そして、この第一次選考を通過した50点のものをさらに選考委員全員で目を通す。1点ずつ、各委員ごとの採点と評価コメントが付けられた。この第二次選

考で集計されたデータ（個別得点、総合合計点、平均点、順位、推薦者数、評価など）を基に、各賞の選定が厳正に行なわれた。従って入賞作品は、内容的にかなり密度の濃いものと見てよいだろう。少くとも、10人という多様な目と、公平な選定を経たものであるから。

ちなみに選考に際して留意された点を上げて置く。第一次では、学生自身の心情や生活が具体的に述べられているか、積極的な意見や主張が明確に述べられ共感を得るか、論旨が一貫し文章表現が適切であるか、など。二次ではこれらに、「円了の教育理念」の内容の理解の仕方や、本人の意見・主張の建設的な点や独創性などが考慮された。近く最上位3点の感想文が公開されるので、ぜひともそこから、「読后感想文の書き方」——自己対話の楽しみ方、というようなもの——をぢかに感じ取ってほしい。

(やまざき・こういち

文学部国文学科教授)





## 三種の神器

ラインマーカー・ポストイットそして国語辞典



山田 奈緒美  
(最優秀賞受賞)

感想文はその本を読みながら書く。と言っても読み終わると同時に感想文が完成する訳ではない。読み終わった時に、自分の感じたことが要所要所に記録されているということである。その為には鉛筆・ラインマーカー・ポストイット・国語辞典が必要だ。「こんなに物がないと本一冊読めないのか。」とお思いのあなた。感想文でお小遣いを稼ごう、佐渡ヘタダで行こうと思うなら、気合いを入れて一発勝負に出るしかない。これらを使えば、何度も読み返す必要も読んでいる途中の自分の感想を思い出す必要もないのである。

感じたことは本に直接書き込む。一言「同感」「納得できない」でいい。その感想の対象となる文はラインマーカーで目立たせる。この時、似た者同士を色分けしておくことと感想文を書く時に必要な文を抽出しやすい。そしてそのページにポストイットを貼る。ポストイットの色分けも必要なページを探すのに便利である。読めない漢字、知らない言葉はその場で調べる。面倒でも調べておけばレポート、卒業論文作成に必ず役に立つ。

こうして読み進めると頭の中に感想文の構図とキーワードが浮かぶ。こうなれば半分完成したも同然である。何も浮かばない時はポストイットを辿り直す。いよいよ書き出しだ。文章を書く時の最低条件は正しい日本語を使うことである。他人に読ませる文章は、誤りが多いと読み難いので嫌われる。誤りをなくすには途中で何度か読み返すしかない。誤字・脱字、自分の言いたいことが歪んで伝わる表現をしていないかを確認する。話をあちこちへ飛ばさない。話の飛ぶ文章は読んでいて疲れる。キーワードを焦点にして書くと良い。行き詰まったらポストイットを辿り直す。完成したらテーマを決める。読み返せば簡単に見つかる。

一生懸命作った物には愛着を感じる。提出するのが惜しいくらいに仕上がれば申し分ない。そんな作品の素晴らしさは誰にでもわかるはずである。

(やまだ・なおみ 文学部教育学科3年)

## 円了は面白い!



桶田 道子  
(優秀賞受賞)

本を読むうえで大切なことは、その本の面白さはいかに知るか、ということだと思う。

『井上円了の教育理念』を読み終わった時、私はまず「面白い!」と感じた。それは私が今、教育と哲学の関わりについて関心があるからなのだろう。

円了の教育は、ものの見方や考え方の基礎を身につけることに重点を置いたものである。現代の教育は試験のための暗記の勉強であって、学校で得るものの第1にくるものは知識であった。だがその知識人を求めていた社会も、1人1人のために変わっていかなくては行けない。

海のむこうでは、一歩ずつ歩みだした国がある。ラテン・アメリカのコスタリカは、50年前に軍隊を廃止し、国家予算の3分の1を教育費などに充てている。フィゲラス大統領は言った。「我が国は地理的には小さな国ですが、私どもの掲げる価値は大きなものです。それは『平和』という価値、『民主主義』という価値、そしてなによりも1人1人の『人権』という価値であります。」と。

大切なのは1人1人。国家の平和も、民衆の1人1人が幸福でなくてはありえない。だからこそ、全ての国民が教育を受け、賢く強くなっていかなくてはならないのだ。

私もそうだが、日本の多くの若者は表に出て積極的に意見を述べようとはしない。たとえ青年の意見が間違っていたとしても、主張することは正しいことだと思う。自分の意見を述べることは難しい。だからこそ、「ものの見方や考え方の基礎を身につける」という円了の教育が大切になってくるのではないだろうか。

本を読む際に私は、自分が興味を持った所や感じた所には線を引いて、一通り読み終わったら前に線を引いた所を重点的に読むようにしている。

円了の教育理念にも「精神を訓練する必要がある。それが哲学を学ぶことだ。」とあるように、また、自分の意見を語っていくにも必要な考える力を養うために、新聞は最高の参考書になると思う。

私は言葉の1つ1つを大切にしながら、円了が「人間一生の春」といった学生時代に、多くのことを学んでいきたい。

(おけだ・みちこ 短期大学日本文学科1年)



## 激情として見る日本文学 (抄)

Strecher, Mathew. C.

僕が初めて日本文学を読んだのは13、4歳の時だった。高校に入学して間もなく、偶然図書室で『古事記物語』の英訳を見つけて、2日間で全部読んでしまった。

これはまるで『聖書』の「発生」<sup>ジェネシス</sup>みたいだった。特に驚いたのが神道の神と聖書の「神」<sup>デウス</sup>の違いで、「神」は最強者なのに、神道の神はもっと自然な、もっと人間的な者なのだ。例えば、怒った天照大神が岩屋に籠ると、宇受女命<sup>うずめのみこと</sup>は裸になって、桶に上がり狂ったように踊る。他の神が皆笑い出すと、天照大神は好奇心の故に出てくる。天照大神は多分神道の一番有力な、大切な大神様なのに、確かに最強とは思われていない。『古事記物語』から日本と欧米の文化的な距離はすぐ分かった。その初めての出会いが忘れられなかった。

高校を卒業してすぐ日本に行った。それは最初の海外旅行で、日本語さえ出来なかったのに、17歳で行かずにはいられなかったのだ。飛行機が海岸に近づいたとき、下を注意深く見ていた。伊弉諾神<sup>いざな</sup>が天御中主神に頂いた矛で作った土地が見えたからだ。

帰国後テキサス大学で英文学を専攻したが、同時に日本語も勉強して、日本文学もずっと読んでいた。色々な日本の小説の英訳が古本屋で安く買えたから。初めて読んだのは谷崎潤一郎の「夢の浮橋」だったかな。『古事記物語』を読んだときと同じ、「日本の道徳は欧米のと基本的に違うのではないか」という感じがした。谷崎の書いていたものは、全然理解出来なかった訳ではないが、何か変な気持ちがしたのだ。以来そんな気持ちを何度も感じたことがある。

大学院に入ってやっと日本文学を専攻出来るようになった。修士論文を三島由紀夫について書こうかと思ったが、あまり暗いので、夏目漱石を読み始めた。やはり漱石も暗いとすぐ分かってきた

が、漱石の風景には魅力的な何かが潜んでいた。寂しさに近い気持ちだったが、とにかくそれが僕を引き付けて、僕自身が漱石の「弟子」になってしまった。漱石と同じく僕も教師になりたかったので、生徒のことを気にかける教師だった漱石をモデルとして見たかったのだ。

修士論文は漱石の漢詩の英訳と解釈にした。博士号の勉強に入ると、なるべく漱石と明治・大正から離れたかったので、現代の村上春樹を勉強し始めた。

しかしこうして日本文学を勉強する外国人は非常に珍しい。幾つかの理由のうちでも第一は、文化的な距離があり過ぎることだろう。人は自分のイデオロギーを無視して他のそれを客観的に容認するのが非常に難しい。しかし真面目に外国文学を勉強するのなら、自分の抱くステレオタイプを超克して、その文学を独立したものとして見なければならぬ。外国人として読んでいけない訳ではないが、その文学の生んだ文化の基盤を理解して読めば、自分の体験はもっと甲斐があるのではないかと思っている。

僕自身は、日本文学・文化に対する興味はもう止められない。子供時代から興味を持って、美しい恋人のように、もう離れられないだろうと思う。人々は皆そういう激情があればよかろう。文学に限らず何でも、好きな何かがあればよい。僕は特に幸運だと思うが、僕の激情と僕の仕事は同じものだ。それで僕は皆にそういう幸運を祈らなければならぬ。

(マシュー・ストレッカー  
モンタナ大学・外国語・外国  
文学部日本語助教授)







# 本を作ってみませんか!

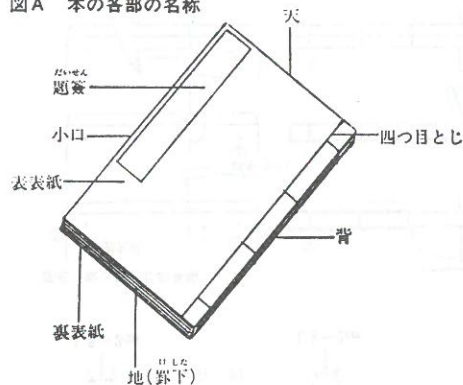


新聞や雑誌の切り抜きをまとめて、一冊の本にしてみたい、論文やレポートをきれいにとじて製本したい、そう思ったことはありませんか。一口に本作りといっても、大別して、和装本と洋装本の二種類があり、どちらも実にさまざまな様式があります。ここでは和装本も最も一般的な仕立て方といわれる「袋とじ」を紹介します。

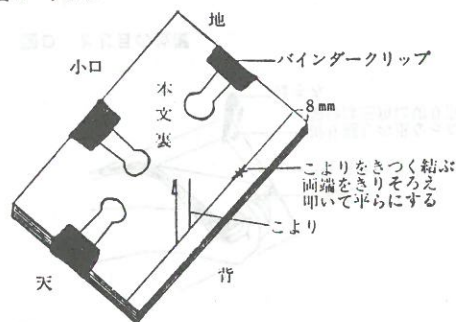
## 材料と用具

- 本文用紙
  - 表紙用紙（布や薄い紙の場合は裏打ちして使う）
  - 題箋用和紙
  - こより 2本
  - とじ糸（太めの絹糸、色は表紙に合わせて変化をつける）
  - バインダークリップ 3個
  - 定規
  - へら
  - 目打ち
  - 目打ち叩（木槌など）
  - とじ針
  - 大和糊（水でマヨネーズ程度の柔らかさにした）
  - 糊刷毛
  - 糊盆
- 用具は身の回りにあるもので十分間に合います。

図A 本の各部の名称



図B 中とじ



## 作り方

- ① 本文用紙は一枚ずつきちんと二つ折りにする。重ねてそろえ、重しをかけてしばらくおいてから、バインダークリップなどで固定する。袋側は小口になる。
- ② 背から8mmくらいのところに線をひき、その線上に適切な間隔で二つ一組の穴を二組あける。こよりを通して仮とじする。こよりの結び目は裏にくるように結び、叩いて平らにしておく。バインダークリップをはずして、小口がきちんとそろっているか確かめる。(図B)
- ③ 表紙の寸法は、本文の大きさに背の折り代を1cm、天地、小口の折り代を1.5cm加えて裁つ。
- ④ 裏表紙の真中に糊を少しつけ、それぞれあきの見当をつけて本文をおく。本文の大きさにそって、へらで印をつけ、まず背の折り代折り込み、天地、小口の順に折る。折り代の重なる四隅の部分は三角に切り落とす。(図C)
- ⑤ 裏表紙の小口側に5mm幅で糊をつけ、背側は天地の中心一ヶ所だけに糊をつけ、本文をおき軽く撫でつけ乾かす。  
表表紙も背側と小口側を確認して同様に作る。

⑥ 図Dを参考にして、穴の位置を決め、下に堅い板をあてて、目打ちで一気に穴をあける。

⑦ とじ糸は、天地の長さの三倍に対角線の長さを加えたものを用意する。

⑧ 糸の最後にこぶを作り、図E-①のように、本文を2、3枚すくうようにして針をaの穴に通す。裏表紙に通した針をさらに背をひとまわりさせて、表からaの穴に差し、あとは図E②-⑩のように差ししていく。

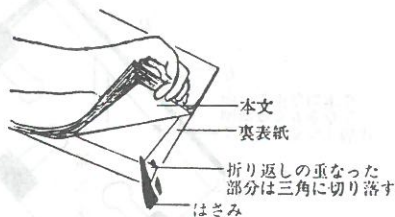
⑨ 最後は、aの穴に戻ってくる。図E-⑫のように穴をすくってとめ、aの穴から表に通して穴の際で糸を切る。

⑩ とじ上がったら題簽をはる。題簽の長さは、表紙の左右の長さより3mmぐらい長くし、幅は全体のバランスを見て適当に決める。表紙の天、小口から、それぞれ4mmぐらいのところに糊ではる。(図A)

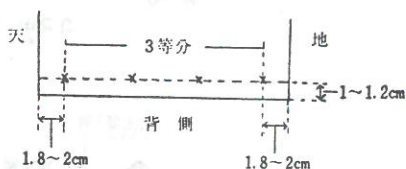
なお、糸のとじ方は、最も基本的な「四つ目とじ」です。四つ目とじとは、とじ目が四つあるところからつけられた名称です。

これだけの説明では、難しい仕事のようにですが、実際に手を動かして、コツをのみこんでしまうと、案外簡単にできるものです。用具、表紙の裏打ちの方法など、製本の仕方について、もっと詳しくお知りになりたい方は、右記の資料をご覧ください。

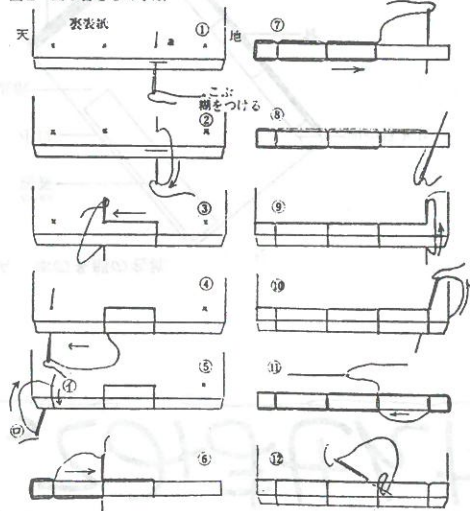
図C



図D とじ目の位置



図E 四つ目とじの手順



## 【参考文献】

『和装本の作り方』

(自開架022.8 : FT 朝開架022.8 : FT)

『図書の修理と製本』

(自開架017 : S : 1-2 朝開架017.08 : S : 1-2)

『やさしい手づくり絵本のつくり方』

(朝開架726.7 : Z)

『趣味の本づくり』

(自開架022.6 : KF 朝開架022.8 : KE)

『現代日本のブックデザイン』

(朝大型本コーナーR022.57 : G)

『装丁の歴史』

(自電動020.8 : SS : 1-7 朝開架020.8 : SS : 1-7)

『装丁ノート』(朝開架022.57 : TK : 2)

『図解製本』

(自電動022.6 : OK)

『印刷・製本・用紙材料』

・定価計算・出版法規編』

(自電動023 : FY : 1-2)

《自 : 白山図書館

朝 : 朝霞分館》



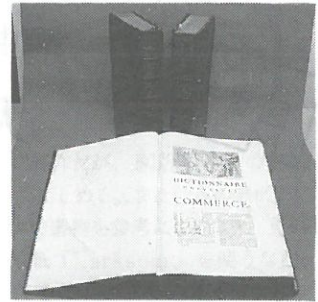


貴重書を訪ねて

# サヴァリー編『商業百科事典』続

全3巻 1741年

— *Dictionnaire universel de commerce* — 風 卷 義 孝



## 18世紀の長崎貿易も紹介！

17～18世紀の西ヨーロッパの諸国家は、政治や宗教など様々な原因から紛争を国の内外で繰り返していたのだが、都市の商人たちの活躍の範囲は、内陸水路の整備、外洋航海の発達などに支えられ、国境の存在をあたかも意識しないかのように、ヨーロッパ各地はもとより、南北アメリカ、アフリカ、アジアの各地へと、地球的規模に拡大していった。そのため『商業百科事典』の内容には、先に触れた父サヴァリーの著書『完全なる商人』の主要部分を占めていたような、商取引をめぐる、あれこれの実務的手法に係わる項目のほかに、取引先となっている地域、都市、港などの地理的項目、更には、その頃、取引されていた各種商品に係わる項目が数多く取り入れられている。

この事典が企画され編纂が始められたのが何時からであったかは定かでないが、初版は1723年に2巻本として出版され、1730年には補巻が加えられた。その後、増補改訂を続け1766年の4版まで

版を重ねたという。本学所蔵のものは3巻からなる1741年版であって、第1巻の冒頭には、総覧的な部分があり、フェニキア、カルタゴ以来の商業史に引き続き世界を4つに区分して各地の商業事情を解説しており、日本については長崎における中国やオランダとの貿易事情をはじめ蝦夷(北海道)の状況などを2ページほど述べている。

圧巻はA、B、C順の項目別の記載に先立ちマルセユ港の主要輸入商品約360品目の解説一覧表を、約70ページにわたって掲載し、品質、用途、積出地、海陸送の区別、一/二次品の区別、年間取引量、単位価格、消費地の欄を設けて商品ごとに記しているばかりか、木材、木綿、皮革、絹、麻などでは、主要銘柄ごとに詳細に触れている。

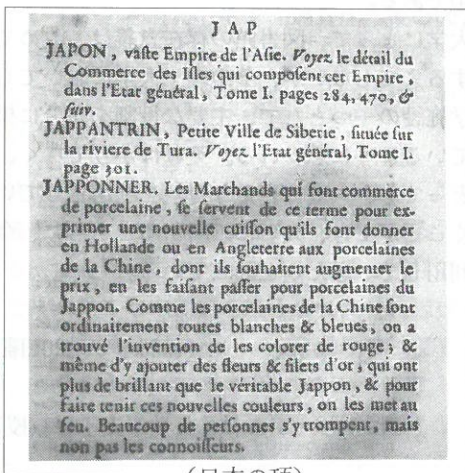
影響は直ちに周辺に及び、先ずイギリスでは、この本を翻訳したうえ自国向きに若干、手を加えたものが出版された。ポッスルスウェイトM. Postlethwayt (1707?～1767)の“The universal dictionary of trade and commerce” 1751～55がそれであって、本学には1757年の第2版が収蔵されている。この時代のドイツではサヴァリー父子の業績に触発された商業書が次々と出版されたなかで、ルドヴィッチC. G. Ludovici (1707～78)の著作‘Eröffnete Akademie der Kaufleute, oder vollständiges Kaufmanns=Lexicon’ 1752～56は『商業百科事典』を模範としたものであることは言うまでもない。

百科事典という出版形態は、近代社会を生み出す啓蒙主義思潮の普及に貢献したことは知られるところであるが、この本もその先駆けを果たしたものの一つであることは間違ひなからう。

(完)

(かざまき・よしたか

神戸商科大学名誉教授・元本学教授)



(日本の項)

お知らせ

11月1日より白山図書館展示コーナーにてサヴァリー編『商業百科辞典』展示予定

図書館紀行

《華中理工大学図書館簡介》

## 大学図書館の使命

谷口房男



かつて創立者井上円了は、哲学館を創設した後、付属の図書館の必要性を、次のように強調した。「大学ができて、図書館がなくては、ちょうど兵隊が武器を持たないようなもの、鉄砲に弾がないようなものであり、大学と図書館がそろって、はじめて学問が盛んになる」と。かくして哲学館創設13年後に、念願の本格的な付属図書館が設置された。ここに井上円了の図書館への考えが、よく伝わってくる思いである。

1996年4月から1年間、中国湖北省武漢市武昌の一隅にある華中理工大学高等教育研究所に、交換研究員として滞在することになり、高等教育研究所の資料室のみならず、同大学の図書館にしばしば足を運び、文献資料を利用させていただいている。ここに華中理工大学図書館について、簡単に紹介してみたい。

華中理工大学のキャンパスの中央部に大きな広場があり、その一角には、あたりの建物とのコントラストから、ひととき際立った近代的な建物がある。5階建ての鉄筋ビルで、実に美しい建物である。かつての図書館は、その傍らにあって対照的であり、年数ではとても及ばないぞ、といわんばかりな堅固な建物である。この旧図書館（老館・南館、1954年建設、9,200平方メートル、4階建）も、今なお活躍しているところに、中国らしさを覚えるのである。我が国であれば、恐らく疾くに取り毀され、新しいもののみが強調され、古いものと新しいものとの調和など、殆ど求めないであろう。

新図書館（新館・北館、15,320平方メートル、5階建）は、香港の篤志家・邵逸夫氏の献金など（彼が1,000万香港ドル、国家教育部480万元、華中理工大学160万元を共同出資）により、1990年

8月に完成したものである。そのことを顕彰して、この建物の正面右側に、小さな記念碑が立てられ、とくにこの建物を、逸夫館と呼んでいる。なお邵逸夫氏は、中国の47の大学に献金したが、その一つがこれであるという。

本図書館には、208万冊の文献が所蔵され、その内42万冊は、マイクロフィルムであり、主として理工系の図書が多く収蔵されている。その図書の利用者は、一日におよそ3,000人であり、学生と教職員が利用している。とくに日本の教員と違って、こちらの先生がたは、個人で本を買うことが少なく、図書館を多く利用するのだそうだ。また殆どの学生は寮生活であり、図書館の利用が欠かせないという。

本図書館では、コピー（復印）や製本のサービスをはじめ、近代的な設備による利用の向上に努めているとのこと。しかし、東洋大学のようなコンピュータによる図書の検索などは、いまだ充分ではないようである。なお現在2台のコンピュータが、検索などに稼動しており、来年度には100台が増やされる計画であり、ここでも機械化が進行中である。

大学にとって、図書館の存在意義は、改めて強調するまでもないが、華中理工大学においても、大学施設の一つとして、主要な役割を十分に果たしているように思われる。そればかりでなく、私にとっても、大変に貴重な資料を利用させていただくことができ、大いに感謝するとともに、今後とも利用していきたいと願っている。

(1996年6月20日記)

(たにぐち・ふさお 文学部史学科教授)



た  
だ  
い  
ま

『ケルムスコット・プレス：ウィリアム・モリスの印刷工房』

貸出中!

ウィリアム・S. ピーターソン著 湊 典子訳 平凡社 1994年

1996年10月3日は、丁度、ウィリアム・モリスの没後百年にあたる。この1年、日本では記念展覧会等の催しは余り聞かないが、生地イギリスではどうだろうか。

ウィリアム・モリスという人は、一般には、少しなじみが薄いかも知れないが、多方面にわたって、実に、様々な業績を残した人である。その中で、最後の業績となったのが、1891年のケルムスコット・プレスの設立である。

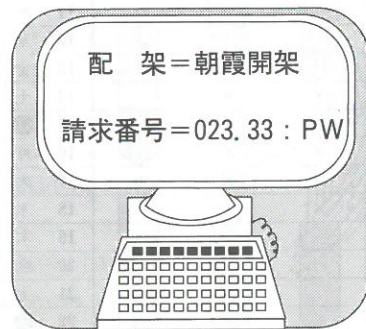
このケルムスコット・プレスとは、私家版印刷工房の事で、モリス死後の1898年3月に閉鎖するまでの7年間に、不朽の名版を含む美しい刊本53書目66点、総冊数にして18,234冊を印刷して世に出した。

なぜケルムスコット・プレスを設立したかについては、「私が書物の印刷を始めたのは、美を確実に主張し、同時に、読みやすく目をちらつかせず、風変わりな形の文字で読者の知性を煩わせたりしないものをつくろうと願ってのことである」とモリス自らが書いている。

この『設立趣意書』から生じる様々な疑問に対する答えを、陰気なヴィクトリア朝という時代背景のもとに、一つ一つ明らかにしていったのが本書である。

521ページという大部な著作だが、図版や巻末の資料も充実しており、なかなか楽しめる。また、本のデザインもケルムスコット・プレスの書物を参考にしており、見返しにはモリスデザインの壁紙『Larkspur』を使うなど、実に、内容にふさわしいものとなっている。本書でケルムスコット・プレスの書物の魅力を十分に実感してほしい。

(1996.10.3 朝霞発)



カウンター発9時

コギャル風!? 嘆き

(白山図書館日誌より)

この文章はすごい暴風雨(台風17号)が自宅の窓ガラスを打ちつける中、ヒマをもてあまして書いています。それにしても先週夏休み後の図書館は、ずっと混んでいた。レポート提出間際だったんだろう。こうして図書館がにわかににぎわうことが、年に何度かある。

特にこの様な時期、館内を見回ったり、閉館の準備をしている時にホワイトキックになることがある。飲食物の缶やパッケージが至る所に残っていたり、果ては本に書き込みされたり、破損された図書を発見したりと。いくら温厚な私でも、こういったことにはマジでチョコペリバになるし、で、現場に出くわしたりしたらMMCだなと思う。(きっと超急いでたり or 超ハラペコで、コピー

キとかもメチャ混んでいて or ベリーカラカラで、仕方なく!! やったんだろうな)

でも、図書館はあくまでPublicなものです。日夜、本がたくさんの人に利用されるよう、また、素晴らしい雰囲気のアメニティー空間であるよう努力しています。

利用者の皆さん、台風みたいに図書館を荒していくのだけは、どうかやめてくださいネ。ぜひ、皆さんの協力をお願いします。

〈コスモスNo.113 P.7 58行め 訂正〉

(誤)「本当の館長先生はこの資料を存分に静かに秩序よく利用してくれる例えてみればシズオ君でありシズカさんではなからう。」

(正)「本当の館長先生はこの資料を存分に静かに秩序よく利用してくれている、例えてみれば、シズオ君でありシズカさんではなからうか。」

図書館アラカルト

LIBRARY CALENDAR

(白山・朝霞・工学部)

※詳細は各館にお問い合わせください。

お願い

図書館内では携帯電話のスイッチをお切りください。

11 月				12 月			
	白山	朝霞	工学部		白山	朝霞	工学部
1 金	閉	閉	閉	1 日	×	×	×
2 土	閉	閉	閉	2 月	閉	閉	閉
3 日	×	×	×	3 火	閉	閉	閉
4 月	×	×	×	4 水	閉	閉	閉
5 火	閉	閉	閉	5 木	閉	閉	閉
6 水	閉	閉	閉	6 金	閉	閉	閉
7 木	閉	閉	×	7 土	閉	閉	閉
8 金	閉	閉	×	8 日	×	×	×
9 土	閉	閉	×	9 月	閉	閉	閉
10 日	×	×	×	10 火	閉	閉	閉
11 月	閉	閉	×	11 水	閉	閉	閉
12 火	閉	閉	閉	12 木	閉	閉	閉
13 水	閉	閉	閉	13 金	閉	閉	閉
14 木	×	×	×	14 土	閉	閉	閉
15 金	×	×	閉	15 日	×	×	×
16 土	×	×	閉	16 月	閉	閉	閉
17 日	×	×	×	17 火	閉	閉	閉
18 月	×	×	×	18 水	閉	閉	閉
19 火	閉	閉	閉	19 木	閉	閉	閉
20 水	閉	閉	閉	20 金	閉	閉	閉
21 木	閉	閉	閉	21 土	×	閉	閉
22 金	閉	閉	閉	22 日	×	×	×
23 土	×	×	×	23 月	×	×	×
24 日	×	×	×	24 火	×	×	×
25 月	閉	閉	閉	25 水	×	×	×
26 火	閉	閉	閉	26 木	×	×	×
27 水	閉	閉	閉	27 金	×	×	×
28 木	閉	閉	閉	28 土	×	×	×
29 金	閉	閉	閉	29 日	×	×	×
30 土	閉	閉	閉	30 月	×	×	×
				31 火	×	×	×

× = 閉館



▶ 原稿募集!! ◀

コスモス春号(1997.4月発行予定)

テーマ：新入生に教えたい  
私の図書館利用法

字数：800字前後

(タイトルをおつけください。字数には含みません。)

原稿締切：12月20日(金)まで

原稿受付先：

白山B1Fカウンター

(担当 <sup>やまうち</sup> 山内)

朝霞2Fカウンター

(担当 <sup>いらいら</sup> 飯村)

工学部1Fカウンター

(担当 <sup>ひぐち</sup> 樋口)

※詳細は各館担当者まで

ユニークな作品まっま〜す!!

<白山 (03-3945-7325)>

通常開館時間

平日：9：00—21：30

土：9：00—20：00

冬季休暇期間中開館日

12月20日(金)

10：00—18：00

冬休み貸出〈学部・短大生〉

貸出開始：12月6日(金)～

12月20日(金)

貸出冊数：5冊

(※雑誌貸出不可)

返却期限：1月13日(月)

<朝霞 (048-468-6329)>

通常開館時間

平日：9：00—18：15

水：9：00—17：00

土：9：00—16：00

冬季休暇期間中開館日

12月20日(金)

10：00—16：00

12月21日(土)

10：00—13：00

冬休み貸出

貸出開始：12月6日(金)～

12月21日(土)

貸出冊数：5冊

(※雑誌は通常貸出)

返却期限：1月13日(月)

<工学部 (0492-39-1321)>

<建築資料室 (0492-39-1432)>

通常開館時間

平日：9：00—18：00

土：9：00—16：00

冬季休暇期間中開館日

12月20日(金)

10：00—16：00

12月21日(土)

10：00—13：00

冬休み貸出

貸出開始：12月11日(水)～

12月21日(土)

貸出冊数：5冊

(※雑誌は通常貸出)

返却期限：1月9日(木)